

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 別紙の「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について」を確認した上で、参加すること。
- (3) 入館前7日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (4) 入館前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は、入館できない。
- (5) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。
提出できない場合は入館できない。
必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。
宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (6) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。
招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際はマスクをはずしてもよい。
招集所ではずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (7) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。
- (8) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離をとって行動すること。
- (9) レース終了後、ミックスゾーンの通過時、サブプールまでの移動中は、マスクを着用すること。
すぐにマスクを着用できない場合は、ミックスゾーンの手前で、呼吸を整えてから着用すること。
- (10) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (11) 食事は、選手控え場所・観覧席のみで、人との距離を保ち単独で取ること。
- (12) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (13) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有の、ドリンクサーバー、アイシングバス
 - ・ メガホン
 - ・ チーム共有のストレッチマット、チューブ、バランスボール、トレーニングバイク等の運動用具（個人専用は持ち込み可）

新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について

【参加者について】

- (1) 来場 72 時間以内（正当な理由がある場合は最長 1 週間以内）のウイルス検査（PCR、TMA、StAmp、抗原定量、抗原定性など）を行い、陰性を確認する（陰性証明書は不要、後日陽性となった場合に提示できるような記録は必要）。
- (2) 市販の抗原検査キットについて、原則として研究用ではなく医療用（体外診断用医薬品（薬事承認あり））のみを有効とする。
- (3) 来場初日から遡って 7 日以内に出場予定の競技者が濃厚接触者となった場合は、該当者の出場を禁止する。なお、濃厚接触者の定義については国もしくは地方自治体の方針に従う。
- (4) 来場初日から遡って 7 日以内に所属チーム内で感染者が出た際に、出場予定の競技者が感染者もしくは濃厚接触者に該当しない場合は、（原則）来場する 72 時間以内の検査で陰性確認をすることで競技会出場を可能とする。
- (5) 大会期間中に陽性者が判明した時点から所属チームすべての出場を禁止する方針であるが、その決定については競技実行委員会及び COVID19 オフィサーとの合議によって決定する。
- (6) 大会終了後 10 日以内に陽性者が発生した場合は、遅滞なく大会実行委員会に報告すること。

【移動について】

交通機関内での感染を防ぐため、移動車内での飲食を禁止、マスクの着用（目の防護をすることが望ましい）、各自で消毒用品を持ち歩くことを徹底する。

【宿泊について】

可能な限りシングルユースが望ましいが、複数人数で利用する場合には居室内でもマスクを着用し、複数人が同時にマスクを外すことがないように注意する。

【食事について】

基本的に会話をしない「黙食」とし、可能な限りチーム内で個々の食事の時間が重複しないようにする。やむなく複数が同じタイミングで摂食するときは同一方向を向いての食事が望ましく、向かい合っただけの食事は避けることを原則とする。食事前もマスクを着用とし、食後も速やかにマスクを着用する。新幹線など公共交通機関での飲食はできるだけ回避するスケジュールを組むことが望ましい。

第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会競泳競技 二次要項

公益財団法人 日本水泳連盟
JOC実行委員長 鈴木 浩二

1 監督者会議

3月26日(日) 16:00～(A面電光表示板側観客席)

2 参加状況(出場者・チーム)

参加クラブ 784団体 参加選手 2,896名 種目数 個人 4,385種目 リレー 402種目

3 日程

期 日	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間	
		競技開始	終了予定	競技開始	終了予定		
公式練習日	3月26日(日)	13:00	練習時間(開門～18:00)				18:30
1日目	3月27日(月)	7:15	9:30	12:25	14:45	16:50	18:30
2日目	3月28日(火)	7:15	9:30	12:10	14:30	18:10	18:45
3日目	3月29日(水)	7:15	9:30	13:50	15:00	18:10	18:45
4日目	3月30日(木)	7:15	9:30	13:00	14:00	16:15	

※練習スケジュール・控え場所に関しては、後日HPに別紙で掲載する。

◇A面女子を電光表示板側・B面男子をダイビングプール側で行う。

27日(月) 開始式 14:30～

28日(火) 12歳以下表彰式 16:45～ 800m/1500m予選 17:05～

30日(水) 閉会式 16:30～

4 「健康チェック表」の提出について

- ① 本連盟ホームページからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。
「健康チェック表」は、公式練習日を含め毎日入場時に提出すること。
- ② 公式練習日、大会期間中とも、外出後の再入場の際は、入場口での検温を行うが、上記の用紙の提出は必要ない。
- ③ 「健康チェック表」の体温・体調については、入場2日前、1日前、当日の3日分を記載すること。
- ④ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保管すること。

5 食事について

食事は、感染予防のため、選手控え場所および観客席で、人との距離を保ち会話を控えて単独で摂ること。ドリンクの回し飲みはしないこと。

6 受付票

今大会はハガキの郵送を行わず、入場時に「受付票」を配布し、選手票・付添票〔ADカード〕・プログラム・監督者会議資料・参加賞の引換えを行う。会場での選手ADカード発行および再発行は1,000円を徴収する。付添票の追加発行はしない。

※選手票・付添票のADカードは全て各チームの責任で写真を添付すること。

7 観覧について

本大会は無観客とします。

8 駐車場

駐車場は辰巳国際水泳場駐車場（有料 100 台）および、辰巳の森海浜公園駐車場（有料 100 台）会場に隣接する全ての通路は駐車禁止のため、公共交通機関の利用を各クラブ引率ならびにご家族への周知徹底を願います。

9 練習（練習スケジュール表・練習のグループ分について参照）

練習は、メインプール・サブプールともに競技順に従い A・B のグループに分けて行う。アップ時の混雑を解消する為、協力をお願いします。公式練習日・大会当日ともに、公式スタート練習は行なわない。

10 棄権の届出

予選を棄権する場合は、所定の届出用紙に記入し、当日 9:10 までにリゾリューションに届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は棄権料 3,000 円の棄権料を徴収する。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後 1 時間以内に棄権料 3,000 円を添えて届け出ること。予選、決勝いずれも無断棄権の場合はさらに 3,000 円を徴収する。プログラムの訂正およびミスプリントも当日 9:10 までとする。

11 ドーピングコントロール同意書

大会当日 18 歳未満の参加者は、18 歳未満競技者親権者同意書（JADA）を必要とする。
参照 JADA ホームページ <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>

12 インターネット配信予定

予選・決勝ともに「You Tube」にて LIVE 配信を行う。
※ 日本水泳連盟ホームページのバナーからダイレクトに接続することができる。

13 ホームページでの確認

競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。
SEIKO 競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)
日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」 (<http://sp.j-swim.jp/>)

連絡事項

その他資料は、整い次第、随時公開いたしますので、引き続きホームページを確認してください。